



大森 正治 議員

新町長の町政運営は

町長

安心して住み続けられる地域を

【大森】 昨年度発覚した二つの不正事件を教訓に、町行政をどう刷新していくのか問われている。不正事件をどう認識し、どのように対処していく考えか。

【町長】 事件を生んだ大きな要因は、委託側と受託側を一人二役で業務をしていたこと、同一職員が10年以上も同様な部署にいたことなどである。

二つの案件とも司法の判断を待ちたいが、行政内部でも調査を進めている。

司法判断が確定したら、詳しい説明をする。

【大森】 どんな基本理念のもとに、どんな施策を重点に行うか。

【町長】 誰もが安心して住み続けられる地域をつくること。

そのために人口減少を食い止める政策を実行していく。

基金のあり方と債券運用は

町長

規則にもとづき運用している

【大森】 基金のあり方についてどう認識しているか。

【大森】 基金60億円のうち約6割の34億円が債券運用だが、適切か。

【町長】 条例・規則「資金管理及び運用についての方針」にもとづいて運用している。

【町長】 債券以外の基金が4割ほどあれば、安定的な財政運営が可能と判断した。

ふるさと納税基金は政策のために積極的に活用したい。

資金管理の実績報告は、毎月町長に行う。議会にも報告する。

大山町の基金一覧（平成27年度決算）

高校生の通学費に補助を

町長

今年度中にスタートさせたい

【大森】 これは町長の公約でもあり、私の公約でもある。住民アンケートでも要望が多い。本町からの通学費の負担は重い。

これへの補助は、子育て支援の具体策として有効な施策と考えるかどうか。

【町長】 実現に向けて担当課が試算などの検討をしている。

半額補助した場合の経費は1500万〜2000万円程度。

【大森】 いっから実施予定か。

【町長】 今年度中にはスタートさせたい。



JRの定期代は米子まで年間5〜8万円